

情勢判断学会 東京本部  
会員向けニューズレター  
発行人 古川 彰久  
事務局 〒252-0321 神奈川県  
相模原市南区相模台1-23-9  
Tel.&Fax.  
042-748-8240  
http://www.jouhan.com  
E-mail:info@iki2life.com

# 旬じょうはん

## 3月例会ご案内

日時 : 3月10日 木曜日  
18:30 ~ 20:30  
場所 : 港区立商工会館  
参加費 : 1000円  
テーマ : 城野先生の「状況判断の行動学」  
の第一章「脳力」開発のすすめ  
演者 : 塩沢 貴良

### 状況判断の行動学

#### 行きづまり打開の「脳力」開発法

引き続き、上記書籍について当日参加者と読み合わせの上、ディスカッション形式で実施

### 第1章 脳力開発のすすめ

人の力は脳の指令作用で発揮される

人の行動はすべて脳から

ポイントは2つ

- ① 頭が良い、秀才などは脳指令作用の結果である。例えば著述は視神経で、原稿やボールペンを活用し手と指の筋肉に指令を出して文章を書かせる。
- ② 脳の作用は興奮と抑止の二つの作用  
人間行動の一切の法則が表現されている。  
全身という命令もどこで止めるといことがくっついている。

いかに思うかで人生は決まる。

ポイント2つ

- ① 人間が愉快、素敵な人生か、憂鬱で惨めな人生も脳の指令作用によって決まる。心がけ次第。
- ② 自分の脳力をもっと高めることができる。  
元来無限というほどの素晴らしい力を持っている脳を、十分に力を発揮させて使う必要がある。素質ではなく使い方できる。

140億の脳神経とシナプス

ポイント4つ

- ① 脳細胞はほとんど一緒  
子供も4-5才でほぼ大人と一緒に。老齢になっても少々減るぐらいでほぼ一緒。万人共通であり、人種、民族で差がない。

### ② 神経伝達スピード

神経伝達スピードも1秒間に60メートルくらい。

### ③ なぜ天才とボンクラの差が生まれる理由

それはシナプス形成にある。シナプス形成の日頃からの努力が必要。

### ④ シナプスの形成方法

外界の刺激のインプットを実際行動で、他の刺激と結びつけたときにできる。例えば赤ん坊が乳房から乳を飲めることを教えてもらおうと、手の神経に命令して、乳房を探し、口に持っていく。こうして次第に高度な複雑なシナプスを形成する。

つねに情報をインプットせよ

ポイント2つ

- ① 学生時代は同じ成績でも何故20年経つと大きな差が生まれるのか。  
運ではない。一方勉強は終了し、ゴルフと麻雀。一方は文系であっても、技術に首を突っ込み、国際情勢から、他国企業、他者の活動の状況を常に吸収し、自社がどう動いたら良いかを実践する。この結果である。

情報のつながりを持つ

ポイント2つ

- ① 専門家という自負を持つと世界の実際の動きが分からなくなる  
専門家の肩書きが付くと自分の専門家としての肩書きにプラスになるデータしか集めなくなる。そうなると脳力開発の発展はストップする。
- ② インプットしたら他とのつながりを意識する。  
そうしないと、いざというときに動員できない。例えばアラビアの石油を調べたら、アメリカ、中南米の石油も連携させる。同時に、化学工業原料なども調べておく。一度これをやっておくと全世界の石油と用途を把握出来る。

まとめ

脳細胞はほとんど一緒。脳力開発の特徴は正しい方法で訓練すれば誰でも効果を発揮する。インプットとつながりを意識し行動することでシナプスを形成させる方法をとる。

# 1月例会報告

日時 : 1月13日 木曜日  
18:30 ~ 20:30  
場所 : 港区立商工会館  
テーマ : 城野先生の「状況判断の行動学」  
第四章 (3) 経済発展の戦略的評価より  
演者 : 松本 友

今回も引き続き第四章の残りを参加者で読み合いを行いました。

日本経済と高度成長は、人間活動の結果、実現できたもの。ということは、制度・組織・運用方法が存在します。

その原因と条件とは何か。それは日本人の特殊性と、特殊な条件が合わさったものと考えられます。

日本人の特殊性とは何か。つまり。

- ・日本人は信号を守る  
赤信号、みんなで渡れば怖くないという言葉に象徴されるように、基本的に信号を守るのが当たり前になっています
- ・国民が1人前の判断力を持っている  
最近でこそ、電車で隣に座った人が怪しい人だったら、と思ったりする事件も起きますけれど、基本的に安心して生活できます
- ・国が国民に対する信頼を持っている  
日本にいとそれが当たり前ですが、一歩外に出ればとても貴重なことなのでしよう
- ・時間を守る  
外国人の友人を持てば日本人が基本的に時間感覚に優れていることがよくわかります
- ・他民族に支配されたことがない  
敗戦しても、直接他民族の支配下に置かれて来ませんでした。

ソ連や中国をみれば、スターリンや毛沢東の統一により行動や意見が違くと国に逮捕されてしまうため、自由な発言、自由な行動が出来ない

のが当たり前です。

日本は意見が違ってても逮捕されません。政策についていくら批判しようとも、警察に呼ばれる、公安にマークされることはありません。コロナ禍で各国ではデモが行われ、暴動になり逮捕者が出ましたが、日本においてはデモもほとんどないですし、あっても静かなものでももちろん逮捕者も出ません。

特殊条件のほうはどうでしょうか。

昔と比べて驚くほどの長寿の実現、公害対策、医療福祉の充実があげられます。教育の普及に関しても、同一民族、同一言語であることから比較的スムーズに広げることができました。これがロシアや中国のように、多民族、多言語を擁する国であればこうは行きません。

また、平等な経済活動が出来るのもそのひとつです。

ヨーロッパではいまだに階級社会が残っているといえます。ロンドン在住の方の著書を読んでも、例えばオリンピックにしても貴族の楽しみだったことがまだ残っていて、競技者にせよ、それを見る人たちにせよ、ほんの少しでしかないようです。日本とは大違いです。東京で行われたオリンピックなのに、是非が問われてあまり興味を持つ人が少ないなんていわれつつも、実際に開催されるとメディアはオリンピックを毎日報じ、メダリストをたたえ、当然、普段の生活でも話題に上ります。

つまり、ヨーロッパを例にとっても一部のお金持ちを優遇する制度やその人達にあったルールが存在するため、日本のようにゼロから銀行にお金を借りて仲間を集め会社を立ち上げて経済活動をする事が出来ないのです。

恵まれた条件があるものの、現在の日本は各国の勢いよりも失速しているように思います。今、日本はどうすべきか、どうしたいのか。改めて考えていきたいと思います。

